

女性ユニフォームデザインプロジェクト



全建協連

全国建設業協同組合連合会（全建）協連、青柳剛会長は2月22日、東京モード学園（東京都新宿区）の学生と連携して実施している「『自信と誇りを育む』建設業で働く女性のためのユニフォームデザインプロジェクト」の入賞作品発表会を同学園コクーンタワー・コクーンホールAで開く。

2022年10月の公開審査で、334点の応募作品の中から選ばれた最優秀賞1点、優秀賞2点、入選3点の計6点を実際に試作・着用したファッショニストとなる。

全建協連では、約5年前にもユニフォームデザインプロジェクトを実施した経緯がある。時間経過とともに

開く。2022年10月の公開審査で、334点の応募作品の中から選ばれた最優秀賞1点、優秀賞2点、入選3点の計6点を実際に試作・着用したファッショニストとなる。

全建協連では、約5年前にもユニフォームデザインプロジェクトを実施した経緯がある。時間経過とともに

東京モード学園で22日ファッショニショー

に、新しいデザインのユニフォームを求める声が上がってきたほか、この間には建設業で働く女性が増えた。活躍の場も広がってきたことを踏まえ、今回は女性用にテーマを絞った。

青柳会長は「建設業界ではいま、新3K（給与・休暇・希望）にもう一つのK（かっこいい）を加えた新4Kがつたわれている。このプロジ

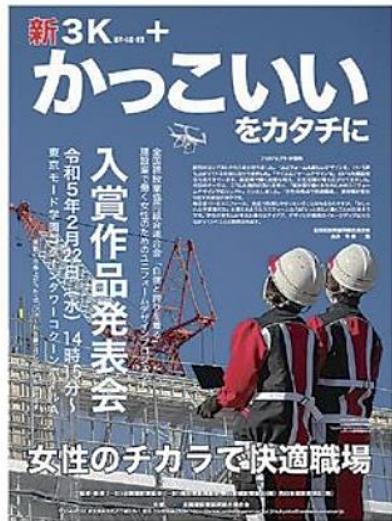
クトで『かっこいい』を『カタチ』にする。そして女性の『チカラ』で快適職場を実現し、業界のイメージアップにつなげたい」としている。

最優秀賞を獲得した田中アリスさんは、実際に建設業で働く友人の声として上がった「収納が少ない」「スタイルリッシュじゃない」「ダサ

い」といった従来のユニフォームに対する不満をヒアリングした上で、服にボリュームがつかない程度のボケットや足長効果のあるパンツなどを採用し、デザインに反映させたという。

デザインプロジェクトは、全国建設業協同組合連合会、建設業振興基金、東日本建設業保証、西日本建設業保証が賛・後援している。

女性用ユニホームデザインコンテスト 入賞作品発表会のポスター作成



全建協連

建設業の女性活躍が
広がる中、担い手確保
に向け新4K（給与・
休暇・希望・かっこい
い）産業としてのイメ
ージアップにつなげ
る。

全国建設業協同組合連合会（全建協連、青柳剛会長）は、5年ぶりに実施している女性用ユニホームデザインコンテストの「入賞作品発表会」をPRするためのポスターを作った（写真）。600枚程度を印刷し、国土交通省や団体などに配られ、実際のデザインを採用したユニホームがお披露目される。

建設業の女性活躍が広がる中、担い手確保に向け新4K（給与・休暇・希望・かっこいい）産業としてのイメージアップにつなげる。

最優秀作品は昨年10月18日に同所で開いた公開審査会で選定。同発表会の会場にはランウェイが設けられ、実際のデザインを採用したユニホームがお披露目される。

同発表会は2月22日に東京・西新宿の東京モード学園コクーンタワー・コクーンホールAで開く。